

## 就任のご挨拶

### 第27代理事長 藏内 保明



学校給食協会理事長就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

3月から4月末現在にかけて、新型コロナウイルスが猛威をふるい続け、内閣総理大臣からの緊急事態宣言を受けて、市立学校は臨時休業が続く状況となっております。

このような状況の中、学校関係者の皆様におかれましては、臨時休業期間中の児童生徒への対応や学校再開に向けての準備など、ご心労の重なる毎日とお察しいたします。

この間、学校給食に関しましても、学校保健課からの「市立学校の臨時休業期間中におけるパンや牛乳等の提供について」の通知にあったように、当初の計画を変更し、学校預かりの児童生徒に対してパンや牛乳等の簡易な昼食を提供することとなりました。現在、学校保健課や給食物資納入業者と連携し、日々の物資の調整に努めております。

私ども給食協会職員一同は、このような状況の中、学校給食の重要性をより一層認識し、安全で安心な学校給食の実現に向け、精一杯努力してまいります。生産者や物資納入業者、学校給食監理士等、栄養教諭の皆様と力を合わせ、教育委員会の指導の下、学校と連携し、学校給食の役割が十分に果たせるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

終わりに、保護者の皆様に学校給食への一層のご理解とご協力を申し上げ、理事長就任の挨拶とさせていただきます。

## 給食物資共同購入委員長の任期を終えて

北九州市立吉田小学校  
前校長 波多江 憲治

「給食物資共同購入委員会とは、どんなことをするところなのかな？」そんなことを考えながら5月の第1回目の委員会に参加しました。そこには、給食協会・小中学校の校長会・教頭会・栄養教諭・学校給食監理士・学校保健課職員等の代表が一堂に会していました。最初に、給食協会より、本委員会の目的「学校給食における子どもたちの食の安全・安心を守る」の説明がありました。これを聞きながら、私たちは大変重要な責務を担っていかねばならないと、気持ちを新たにすることを覚えています。

日頃、校長として子どもたちの食物アレルギーや給食室の業務における安全等には注意を払っていましたが、給食室に来るまでの「食材」については、全く気にしていませんでした。しかし、この物資共同購入委員会に参加させていただくことで、全市的に安全でおいしい給食を提供していくために、毎月このような会が実施されていることを知り、学校給食の果たす役割の大きさを痛感することができました。

新年度を迎え、物資共同購入委員会のメンバーも入れ替わり、学校給食を支えていくことになると思います。子どもたちは、給食が大好きです。給食を楽しみに登校している子どもたちもたくさんいます。そのような子どもたちのためにも、今後も給食関係者の皆様には、学校給食への温かいご理解とご協力をお願いいたします。

## じゃがいもについて

1学期使用のじゃがいもについて、雨と急激な気温・温度の上昇により、白っぽい土カビが発生しやすい状況です。洗うことで取り除くことができますので、できるだけ使用していただきますようお願いいたします。また、学校では箱を開け、風通しの良い状態で保管してください。

